



ばんキッズ

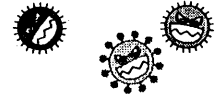
2月号

★おうちの^{びと}といっしょによみましょう。

大仙市立豊岡小学校 保健室

平成31年2月4日(月)

インフルエンザ本校でも大流行!

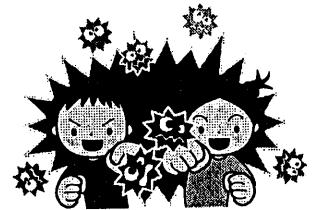


今日は立春。こよみの上では春ですが、まだまだ寒い日が続きます。

強い寒さとともにインフルエンザが本格的に流行する時季になりました。現在大仙市・仙北市・美郷町ではインフルエンザ(A型)がかなり流行していて、本校でも先週までに**3人**、今週新たに**1人**(いずれも**A型**)罹患者が出ました。中仙地区全域で流行していますので注意が必要です。予防として、手洗いやうがいはもちろん、「栄養・休養・運動」の生活リズムをととのえて体の抵抗力を高め、病気に負けないからだづくりを心がけることが大切です!

*裏に「さきがけ新聞」の記事をのせていますのでご覧ください。

2月の保健目標：◆手洗い・うがいでかぜをふせごう



～保護者の方へお願い～

1. マスクの準備をお願いします

マスク着用がせきエチケットやのどの乾燥防止に役立っています。またマスクをすることにより手についたウイルスが鼻や口に直接接触することが減り、**ウイルスの体内への侵入を防いでくれます**。学校でも準備はしておりますが限りがあります。ぜひご家庭でマスクの準備を多めにしてください。給食用以外にも予備のマスクを2～3枚持たせてください。



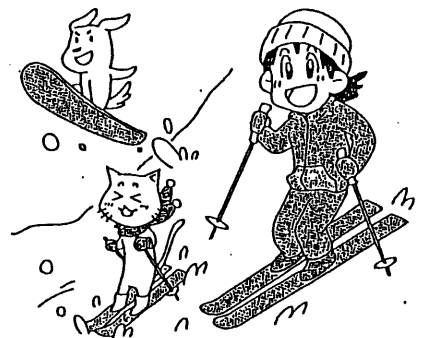
2. スキー教室について

スキー教室では、通常の体育と環境が大きく異なり、けがや体調不良が起りやすくなります。スキー学習を安全に行うためににも、ご家庭に次のことをお願いいたします。

*服装の準備を万全に(汗ふきタオルも忘れずに)

*健康観察をじゅうぶんに

当日の朝、お子さんの健康観察を行い、いつもと様子が違ったら**検温**をお願いします。具合が悪い場合はけっして無理をさせないでください。バスに酔いやすいお子さんにはあらかじめ**酔い止め薬**を飲ませてくださるようお願いいたします。



インフル流行 過去最悪

全都道府県「警報レベル」

厚生労働省は1日、1月21～27日の1週間に報告されたインフルエンザ患者が1医療機関当たり57・09人だったと発表した。昨冬ピークの54・33人を上回り、集計が始まった1999年以降最多。全都道府県で30人を超える「警報レベル」となった。医療機関を受診したのは全国で約222万6千人(推計)で、前週から10万人近く増えた。

ウイルス2種同時拡大

ウイルスの型を調べると、脳症を起こしやすいとされるH1N1型と、高齢者を中心に重症化しやすいといわれるA香港型が同時拡大しており、流行を深刻化させている可能性がある。

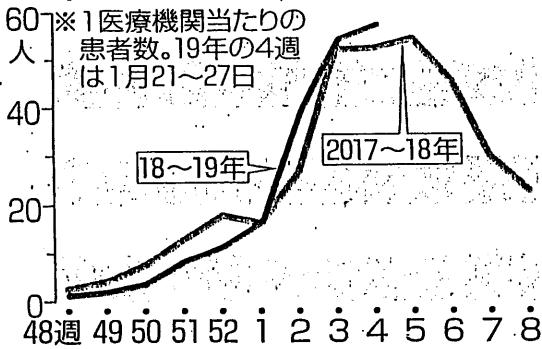
全国約500の医療機関から報告された入院患者数は1

週間で3205人、集中治療室や人工呼吸器、脳波検査などが必要なケースは延べ628人に上った。昨冬ピーク時は、それぞれ2050人、延べ379人で、今冬は重症例が目立つ。70代以上が入院患者の半数超を占める一方、約2割は0～9歳だった。各地

で死亡例の報告も相次いでいる。

都道府県別では埼玉の84・09人が最多。新潟(77・70人)、千葉(73・00人)、宮城(69・81人)、神奈川(67・94人)が続いた。本県は46・85人。

インフルエンザの患者数の推移



31都道府県で前週より増えた一方、16府県は減った。休校や学年閉鎖、学級閉鎖となった保育所、幼稚園、小中高校は、全国で計8928施設。前週の6343施設から大きく増えた。

国立感染症研究所の砂川富正室長によると、今季は3シーズンぶりにH1N1型が流行。前回流行時には乳幼児を中心にインフルエンザ脳症患者が約220人報告された。今季も同様に増加傾向にあるという。

一方、年が明けてからはA香港型が急拡大し、直近5週間分の集計では、H1N1型とほぼ同じ数が報告されている。

厚生労働省は、こまめな手洗いや、せきやくしゃみが出るときはマスクを着けるといった「せきエチケット」の徹底を呼び掛けている。